

# 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

## I 当法人の概況

### 1 役員等に関する事項

#### (1) 理事及び監事に関する事項

##### 理 事

定 数 9人以上13人以内(会長、副会長及び専務理事を含む)

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤9人、計10人

##### 監 事

定 数 2人

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(令和5年3月31日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
会 長	竹谷 千里	R 3. 6. 18～ 令和5年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道公安委員会 委員
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学 学長
理 事	坂本 征人	〃	〃	〃	北海道中学校長会 対策部幹事
〃	平田 弘子	〃	〃	〃	北海道PTA連合会 事務局長
〃	中畑 雅幸	〃	〃	〃	北海道商工会連合会 総務部長
〃	木寄 美和	R 4. 7. 10～ 令和5年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道新聞社 編集局くらし報道部長
〃	山田 園子	R 3. 6. 18～ 令和5年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	新得町子ども会

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理事	濱田 弘子	R 3. 6. 18～ 令和5年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	札幌市西区青少年 育成委員会連絡協議会 議長
〃	早川日出利	〃	〃	〃	苫前町 子ども育成連絡協議会 会長
専務理事	柴田 千尋	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監事	川村美栄子	R 4. 6. 21～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	酒元 辰也	R 3. 6. 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道歴史文化財団 専務理事

(2) 評議員に関する事項

定数 9人以上 13人以内

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤9人、計9人

(令和5年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	大浦 充	R 4. 6. 21～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	森田 智也	〃	〃	〃	北海道小学校長会 事務局長
〃	出井 浩義	R 3. 6. 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道市長会 事務局長
〃	山内 康弘	〃	〃	〃	北海道町村会 事務局長
〃	木村 謙治	〃	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	北野 和	R 3. 6. 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	日本ボーイスカウト 北海道連盟 常任理事
〃	中川 淳二	〃	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	R 4. 6. 21～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 常任理事
〃	大橋 俊忠	R 3. 6. 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長

## 2 賛助会員に関する事項

(令和5年3月31日現在)

種類	前年度末	当年度末	増減
普通賛助会員 個人	45 人	46 人	1 人
普通賛助会員 青少年関係団体	50 団体	51 団体	1 団体
特別賛助会員	144 団体	142 団体	△2 団体
合計	239 人・団体	239 人・団体	0 人・団体

## 3 職員に関する事項

現在数 5名

(令和5年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	沼田 祐司	常 勤
主 査	竹本 郁子	〃
主 任	福田 拓哉	〃
専門指導員	山田 篤秀	〃
非常勤嘱託	齋藤 博美	〃

## II 事業に関する事項

### 1 令和4年度事業の実施状況

別添のとおり

### 2 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和4年6月3日	① 令和3年度事業報告について ② 令和3年度決算について（監査報告） ③ 評議員会の開催及び目的である事項について	承認 承認 承認
令和4年7月1日 （書面理事会）	理事の補充選任に伴う評議員会の開催について	承認
令和5年3月23日	① 令和5年度活動方針及び事業計画（案）について ② 令和5年度予算（案）について ③ 資金調達及び設備投資の見込みについて ④ 令和5年度資金管理運用執行方針及び計画（案）について	承認 承認 承認 承認

#### (2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和4年6月21日	① 令和3年度決算について（監査報告） ② 監事の補充選任について ③ 評議員の補充選任について	承認 承認 承認
令和4年7月10日 （書面評議員会）	理事の補充選任について	承認

#### (3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
令和4年8月1日	・ 令和3年度 北海道青少年基金事業実績及び収支決算について ・ 令和4年度 青少年及び青少年団体・グループ並びに育成者・指導者顕彰の決定について ・ 令和4年度 北海道青少年基金運用益交付団体の決定について ・ 令和5年度 北海道青少年基金運用益交付団体の申請要件の変更について

### 3 所管庁への届出事項

届出年月日	届出事項
令和4年6月27日	令和3年度 事業状況報告等の提出
令和4年7月4日	監事・評議員変更の届出
令和4年7月19日	理事変更の届出
令和5年3月27日	令和5年度 事業計画等の提出

### 4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
令和4年4月15日	令和3年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (北海道環境生活部)	なし
令和5年1月25日	補助事業の支出に係わる現地調査 (北海道出納局)	なし

### 5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特にありません。

## Ⅱ－１．令和４年度事業の実施状況

少子高齢化の進行は社会に大きな影響を及ぼし、我が国社会全体の根幹を揺るがしかねない危機的な状況にあります。コロナ禍により、子どもや若者、家庭を巡る様々な課題が深刻化する中で、誰一人取り残すことのない健やかな成長には、行政や関係機関・団体などによる切れ目のない包括的な支援が求められています。

このため、当協会では、すべての子どもの達が健やかで安全・安心に成長できるよう、北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、コロナ禍の状況を踏まえつつ、青少年の健全育成に向けた事業の推進に努めました。

令和４年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

### １ 青少年育成住民運動の促進

運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、地域関係者との合同会議を開催するなどして、青少年育成運動についての共通理解を深め、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。

#### (１) 北海道青少年育成運動推進指導員の配置

○ 定員 238人 (現配置数：231人)

《配置内訳》札幌市10人、旭川市・函館市は各3人、小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人、その他の市及び町村各1人  
(総合)振興局(青少年指導員、青年代表)、教育局(社会教育主事)各1人

○ 活動

- ア 青少年育成運動(地域行事・活動に参加)
- イ 地域団体等の事業を実施
- ウ 非行防止、環境浄化(巡回パトロールなど)
- エ 行政との連携(市町村行事等に参加)
- オ 当協会の事業推進(住民への情報提供等)

#### (２) 青少年育成地域合同会議の開催(北海道との共催)

青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者、青少年育成団体関係者等が出席して、(総合)振興局毎に道内14箇所で開催した。

○ 期日 令和4年5月16日(月)～6月30日(木)

○ 参加者 355名(総計)

○ 内容

- ア 北海道の青少年育成施策の推進について
- イ 青少年育成協会の活動方針と事業計画について
- ウ 道内の少年非行の概況について
- エ 教育行政に関する情報提供
- オ 意見交換など



▲管内関係者による地域合同会議  
(石狩振興局)

#### (３) 市町村民会議等との連携強化

地域の運動推進の中核である青少年育成市町村民会議等への啓発資材や機関誌等の配布により情報提供を行い、連携の強化や運動の支援を図った。

地域の活動事例として、次の市町村民会議の活動を当協会ホームページや機関誌で紹介した。

- ・新冠町青少年健全育成委員会 ～ 子ども110番マップの作成
- ・江差町青少年健全育成会議 ～ みんなで育てる「え・さ・しっ子運動」
- ・釧路町青少年育成協会 ～ ふれあい花壇造成(小中高生によるボランティア活動)

#### (4) 青少年育成地域懇話会の開催

青少年に関する諸問題について、学識経験者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議等との共催で開催した。

選定したテーマに沿った講話と参加者による意見交換を通して、地域の現状や課題解決への取組等について、共通理解を深めた。

**恵庭市** 共催：恵庭市青少年育成市民の会

○ 期 日 令和4年8月26日(金)

○ 場 所 恵庭市民会館

○ 後 援 恵庭市教育委員会

○ テーマ 「ネット社会に生きる

恵庭の子ども達を育むために」

○ 参加者 地元青少年育成関係者 50名

○ 内 容 講 話：「子どものSNSやインターネットの問題を考える」

講師：北翔大学教育文化学部教授 飯田 昭人氏

意見交流テーマ：「大人が子どもと向き合うために必要な知識や情報とは？」

コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課

社会教育指導班主事 小田島 美雪氏



**新ひだか町** 共催：新ひだか青少年健全育成運動推進協議会

○ 期 日 令和4年11月26日(土)

○ 場 所 新ひだか町公民館コミュニティーセンター

○ 後 援 新ひだか町、新ひだか町教育委員会

○ テーマ 「子どもを守り育てる

地域コミュニティの重要性」

○ 参加者 地元青少年育成関係者 30名

○ 内 容 講 話：「ウィズコロナ時代の地域コミュニティの在り方」

講師：北海学園大学経済学部教授 内田 和浩氏

意見交流テーマ：「子どもを守り育てる地域コミュニティの重要性」

～青少年がいきいきと活動するためには～

コーディネーター：北海道教育庁日高教育局教育支援課

社会教育指導班主査 影山 英明氏



## 2 青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進

青少年の健全な育成について社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会などを開催し、青少年育成についての共通理解を深めた。

### (1) 北海道青少年育成大会の開催（北海道、国立青少年教育振興機構との共催）

全道の青少年育成関係者が一堂に会し、活動功労者の表彰、基調講演、青少年の事例・活動発表や「少年の主張」全道大会を行い、青少年育成活動の一層の推進をアピールした。

○ 日 時 令和4年9月2日(金)

○ 開催場所 道民活動センター（かでの2・7）かでのホール

○ 参加者 約200名（関係者含む）

○ 内 容

- ・令和4年度北海道社会貢献賞（青少年健全育成成功労者）表彰式

受賞者：中原 明 氏（札幌市）ほか12名

- ・令和4年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式

受賞者：特定非営利活動法人 E-LINK（札幌市）

- ・令和4年度「少年の主張」全道大会

審査結果発表及び表彰、最優秀賞及び優秀賞の発表  
《最優秀賞》

受賞者：（石狩代表）江別市立大麻東中学校

3年 金 美怜 さん

テーマ：「込められた意味」

- ・基調講演

演 題：「令和の超デジタル社会を生きる子どもたちのために

ー学びに趣味にコミュニケーションに…まずは現状を知り、できることを考えよう！ー」

講 師：ネット教育アナリスト 尾花 紀子 氏

- ・事例発表

発表題：「人をつなげて地域を楽しくするスペース naniroBASE&Lab.」

発表者：naniroBASE&Lab. 副所長 黒井 理恵 氏

- ・青少年の活動発表

発表題：「音楽の力は無限大！コロナ禍を吹き飛ばす小さな演奏家達」

発表者：札幌緑小学校スクールバンド

基調講演及び「少年の主張」全道大会各地区代表者の発表を、大会終了後、当協会ホームページで公開して広く情報発信した。



▲北海道青少年育成大会  
（「少年の主張」全道大会）

(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催

青少年育成運動推進指導員や青少年育成関係者、ボランティア等の参集を得て開催した。

基調講演と分科会での研究協議や意見交換等を行い、直面する諸問題や地域での活動事例について学び、今後の地域活動の充実・強化に役立てることができた。

- 期 日 令和4年11月13日(金)

- 場 所 道民活動センター(かでの2・7)大会議室ほか

- 参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体関係者、  
(総合) 振興局・市町村関係職員、青少年補導員、更生保護関係者等 計121名

○ 内 容

基調講演

演 題：「不登校・ひきこもりの子ども達にどう寄り添うか

ー 子ども・家庭のSOSに地域の大人ができること ー」

講 師：北海道教育大学大学院准教授 齋藤 暢一朗 氏

第1分科会（グループワーク）

テーマ：「コロナ禍で実践している地域活動の共有」

～ いま、求められる取組と支援 ～

コーディネーター：北海道教育庁生涯学習推進局

社会教育課課長補佐 山田 智章 氏



▲活性化研究協議会 分科会



## 第2分科会

テーマ：「地域と子どもが“つながる”活動」～地域活動に子ども達を参画させるために～  
話題提供者：上士幌町教育委員会生涯学習課地域協働専門員 明石 穂乃香 氏  
コーディネーター：北海道教育庁後志教育局教育支援課  
社会教育主事 松枝 良純 氏

## 第3分科会

テーマ：「コロナ禍における家庭が抱える問題」～必要な支援を子ども家庭に届けるために～  
話題提供者：浄土真宗本願寺派覚王寺 住職 内平 淳一 氏  
認定NPO法人おてらおやつクラブ 深堀 麻菜香 氏  
コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課  
社会教育主事 小田島 美雪 氏

### (3) 青少年育成関係団体懇談会の開催

困難を抱える子ども・若者を支援する活動の現状や課題についての話題提供、青少年育成関係団体・機関等の活動報告を行い、相互の活動の連携協力や今後の取組の効果的な促進についての共通理解を深めた。

- 開催日時 令和5年2月2日(木)
- 開催方法 オンライン開催
- 参加団体 11団体・5機関
- 内 容

・話題提供：「子ども・若者の居場所をつくる

－ 地域を巻き込んだ若者や子育て支援の取組－」

説明：一般社団法人ソーシャルペタゴジーネット 代表理事 松田 考 氏

・活動報告と意見交換、情報提供



### (4) 明るい家庭づくり道民運動の推進

様々な啓発資料等の配布や「家族ふれあい優待制度」の広報、絵画コンクールの実施などにより、平成12年度に制定した「道民家庭の日（毎月第3日曜日）」の普及啓発に努め、全ての道民が青少年を支え、育む社会環境づくりを進めた。

- 「道民家庭の日」の普及啓発（北海道との共催）  
道民家庭の日のイメージキャラクター『ほーほーくん』も参加して、街頭啓発を札幌駅コンコースで行った。  
[実施日時：令和4年4月～5年3月の第3金曜日]  
道内の市町村や小中学校、児童館、関係機関・団体などにリーフレット等を配付したほか、各事業やイベント等で活用した。



▲札幌駅での街頭啓発活動

〔リーフレット(60,000部)、カレンダー(4,000部)、ポスター(3,000部)自由帳(3,000部)、クリアファイル(4,000枚)など〕

- 家族ふれあい優待制度の普及促進

道民家庭の日に特別価格等でのサービスを提供していただく「家族ふれあい優待制度」の啓発資料の配付や各振興局、市町村、推進指導員からの情報提供、街頭啓発、大手ハンバーガーチェーン店のチラシへの掲載などでPRに努めたが、コロナ禍の影響もあり、協賛店は減少となった。

## 《協賛店・施設》

ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク、果樹園、ボウリング場、スーパーマーケット・商店、キャンプ場など 計 320 ヶ所（前年度 370 ヶ所）

## ○「道民家庭の日」絵画コンクール2022の実施

全道の小・中学校児童生徒からの応募作品を審査し、入選作品を決定して表彰するとともに、入賞作品展を開催した。【応募総数：53校／341点】

### ・最優秀賞

#### 小学生の部

受賞者：今金町立今金小学校6年 近藤 李莉 さん  
題名：「田植えの手伝いに行ったけど・・・」

#### 中学生の部

受賞者：札幌市立藤野中学校1年 竹下 結衣 さん  
題名：「とうきび だーい好き！！」



▲小学生の部 最優秀賞



▲中学生の部 最優秀賞・特別賞

(以下、各部門毎に入選作品を決定)

- ・優秀賞 各2点
- ・特別賞（キューピー賞）各2点
- ・優良賞 各6点
- ・佳作 各24点
- ・学校賞 2校

## ○ 絵画コンクール入賞作品展の開催

- ・札幌駅前通地下広場  
(令和4年12月10日／入場者数 324名)
- ・(総合)振興局庁舎等での巡回展示  
期間：令和4年12月19日～令和5年3月9日  
開催地：檜山、根室、後志、渡島、宗谷、  
胆振、オホーツクの7(総合)振興局
- ・北海道新聞社が発行する「さっぽろ10区(トーク)」  
に「道民家庭の日」絵画コンクール2022入賞作品展  
(チ・カ・ホ)の開催予告を掲載した。



▲絵画コンクール入賞作品展(チカホ)

## (5) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(国)及び「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」(道)、11月の「子供・若者育成支援強調月間」(国)の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施した。

- ・啓発資材として「道民家庭の日」ポケットティッシュを各(総合)振興局に配付し、非行防止活動の推進に努めた。 配付部数 13,500 個  
また、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。

- ① 「夏・冬の暴力追放運動」街頭啓発の実施（共催 北海道暴力追放センター）  
北海道暴力追放センターが主催する街頭啓発活動に参加した。
- ・日 時：令和4年7月、8月及び12月 計4回
  - ・実施場所：地下鉄駅前等（札幌市内）

- ② 未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進  
当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関する情報を掲載し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。

- ③ 有害情報から青少年を守る活動の推進  
北海道や学校関係者、情報通信企業などで構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会に参加し、インターネットや携帯電話の利用による有害情報から青少年を守るための啓発活動を行った。

(6) 「北海道青少年のための200冊」の選定・推奨

青少年に優良図書情報を提供して読書を普及させるため、北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会の協力を得て、「北海道青少年のための200冊」を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成して、全道の幼稚園や学校、図書館など関係機関に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。

本事業は、出版社47社に協賛をいただいて運営することができた。

配付部数 ・令和4年度図書目録及び新選図書目録 各12,000部  
・200冊啓発ポスター 3,000部

なお、「200冊」は、北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催する読書感想画中央コンクールの対象図書として紹介された。

(7) 広報啓発活動の推進

青少年育成運動への理解と関心を高めるため、機関誌やポスター等の啓発物の配布やホームページ等を活用した広報活動を行った。

- ・協会の事業報告や関係団体等の活動状況などを掲載した機関誌「育む」を年2回発行した。(配付部数) 1,800部 [各回]
- ・「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品11点を掲載したカレンダーを作成し、市町村、学校や関係機関・団体等に配付した。(配付部数) 2023年カレンダー 4,000部
- ・協会が実施する大会や研修会など行事の予告や実施結果、各種助成金や絵画コンクール作品募集等の情報、出版物の電子版の掲載などについて、ホームページやSNS(LINE)を活用して、幅広い層への情報発信に努めた。



▲機関誌「育む」の発行

(8) 講演録集の作成・配付

青少年育成についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会など講演内容を取りまとめた講演録集「次代を見つめて'22」を発行し、市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。(配付部数) 700部

掲載内容

- ・北海道青少年育成大会及び青少年育成運動活性化研究協議会の基調講演
- ・令和3年度子供・若者育成支援のための地域連携推進事業／中央研修大会

演題 ① 「子ども・若者の Well-being を高めるために」

講師：公益財団法人 Well-being for PlanetEarth 代表理事 石川 善樹 氏

演題 ② 「ひきこもり・不登校時の子供・若者とその家族の支援」

講師：関西大学大学院教授 石田 陽彦 氏

#### (9) 講師派遣の実施

市町村や育成団体等の要請を受けて研修会に専門指導員を派遣し、地域での課題等に係る講演を行い、課題解決に向けた取組の理解を深めた。

##### 派遣先

- ・後志管内青少年育成運動推進指導員協議会研修会 (倶知安町/参加者 13 名)
- ・札幌市豊平区青少年育成委員会研修会 (札幌市/参加者 77 名)
- ・十勝青少年育成推進指導員会研修会 (鹿追町/参加者 19 名)
- ・札幌市中央区青少年育成委員会研修会 (札幌市/参加者 70 名)

【派遣回数 4 回／総参加者 179 名】

### 3 青少年の主体的な社会参加・体験活動の促進

青少年が健やかに成長し自立した社会人になるよう、青少年の地域での実践活動を支援し、青少年の社会参加・体験活動を促進した。

#### (1) 北海道青少年基金事業の推進

青少年の主体的社会参加による地域づくりや社会貢献活動等の推進を図るため、「北海道青少年基金」を造成し、その運用益を活用して青少年団体等の活動を支援した。

##### ① 基金の造成

道職員や各関係団体への協力要請、新成人記念募金、施設や運用益交付事業実施時の募金箱の設置依頼、当協会実行事等で募金の呼び掛けを行った。

令和 4 年度の基金造成実績 募金実績額：112万3,079円

基金累計額：3億3,829万7,236円

##### ② 運用益交付等事業

###### ア 助成事業

青少年団体・グループや青少年育成団体等が行う文化・スポーツ活動や交流・体験活動などに対して、助成金を交付した。

令和 4 年度交付団体数 26 団体 交付総額 195万円

###### イ 顕彰事業

優れた活動を展開している 特定非営利活動法人 E-LINK (札幌市) を表彰した。

#### (2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進

地域の青年が地域づくりに主体的に参画し、その活動を通して地域活動の担い手として成長することをめざす「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施し、青年団体等が行う活動に交付金を交付し、活動の推進を図った。

##### 交付青年団体グループ名・事業名

○ 団体名：特定非営利活動法人 ezo rock

事業名：GREENDAY 2023 オンライン

内容：2日間で 12 のテーマのオンラインフォーラムを開催し、若者の社会問題への気づきを促し、ネットワーク作りのきっかけとなった。

- 団体名：特定非営利活動法人 E-LINK  
事業名：寺子屋プロジェクト  
「創世東よってこ！おちやのま」  
内 容：「北海寺」で子どもと地域・大人をつなぐ  
“居場所”を運営し、大人との関わりを通してさまざまな学びの機会を提供した。



▲子どもの居場所づくり事業

- 団体名：「彩んな色」の会  
事業名：車いすトイレマップの作成  
内 容：学生メンバーで札幌市内の施設を調査し、トイレの写真や注意点などの情報をオンライン上で公開した。
- 団体名：室工大カフェファンクラブはんもっく  
事業名：工大生とトライしよう  
内 容：建築学生による“お菓子の家づくり”を通して、地域の子ども達に自由な発想で作品作りを楽しんでもらった。

#### 4. 国や中央団体等との連携

関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係団体の事業に協力した。

##### (1) 研修等への参加の支援

- ① 内閣府が主催する研修会（オンライン開催等）について、青少年育成運動推進指導員等へ周知した。

ア 中央研修大会	令和4年11月8日
イ 青年リーダー研修会	令和5年1月30日～2月1日

- ② 本道の青少年の自立を促し、ボランティアや国際貢献、起業などへの意欲を向上させるため、「日本の次世代リーダー養成塾」への道内高校生の派遣事業について、次代の北海道を担う青少年育成協議会に参加して運営に協力した。

##### (2) 顕彰事業への協力

- ① 国（内閣府）の表彰

不登校・ひきこもりの子どもや家族の支援活動が認められ、特定非営利活動法人ジェルメ・まるしえ（石狩市）が「チャイルド・ユースサポート章（子供と家族・若者応援団活動事例紹介事業）」を受章した。

- ② 全国青少年育成県民会議連合会の表彰

長年の青少年育成活動が認められ、青少年育成運動推進指導員の阿部守氏（清里町）が「青少年指導者等顕彰」を受賞した。

##### (3) 読書を普及する活動への協力

北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催する青少年読書感想文全道コンクール・北海道指定図書読書感想文コンクールに「協会長賞（2名）」を出賞し、青少年の読書の普及活動を支援した。